

法政大学 人文科学研究科 哲学専攻 博士後期課程 学位論文審査基準

哲学専攻における博士後期課程の学位論文は以下の項目と基準に照らして審査される。

1) 問題設定

- 1-1) 取り組まれた問題が哲学的に有意義な内容を持つ。
- 1-2) 取り組まれた問題が研究上・実践上の独創的な意義がある。

2) 研究方法

設定された問題を哲学的に検討するために適切な研究方法が用いられている。

3) 文献と先行研究

- 3-1) 問題設定に関わる必要な一次文献を探索し、適切に読解している。
- 3-2) 問題設定に関わる必要な先行研究を読解し、批判的な検討と独自の主張をしている。

4) 研究内容の独創性・新規性・発展性

研究内容が当該領域において高い水準を示し、従来の研究に比して議論の内容・研究手法・結論等に独創性や新規性が認められ、当該領域での今後の研究の発展に資する要素が認められる。

5) 議論・構成の論理的妥当性

議論が十分に論理的かつ整合的に構成され、結論に向けて合理的な筋道で組み立てられている。

6) 内容の倫理的妥当性

論文中の文章表現、他の研究の引用や参照、データ収集や調査などが研究倫理上適切な形で行われている。

総合判定 (S, A+, A, A-, B+, B, B-, C+, C, C-, D)